

ゼロカーボンシティの実現

ゼロカーボン

エネルギー対策



電動船「HARMO艇」

解決したい
課題内容

徳島市は、令和5年12月に「徳島市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、令和32年(2050年)までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする方針を掲げました。
特に、JR徳島駅と阿波おどり会館を結ぶ都心軸(シンボルゾーン)を核としており、同エリアにおける創エネや省エネの取組を進めたいと考えています。

課題に対する
現在の取組

本市は令和8年2月に環境省から「脱炭素先行地域」に選定され、シンボルゾーンを核として、公共施設等への屋根置き太陽光発電設備の設置やLED設備の導入など都心部の省エネ対策をはじめとする脱炭素の実現に向けた様々な取組を進めることとしています。
また、本市の象徴的な観光資源であるひょうたん島周遊船の電動化やボードウォークデッキ材のリニューアル工事に既存のデッキ材を再利用するなど、脱炭素まちづくりに資する先進的な取組を民間業と連携して実施しています。

そのほか、市民を対象とした住宅用太陽光発電の設置費補助など再生可能エネルギーの導入拡大に取り組んでいます。

- 【関連情報】
- ・ [徳島市ゼロカーボンシティ宣言](#)
 - ・ [環境省「脱炭素先行地域」](#)
 - ・ [ひょうたん島周遊船の電動化に向けた実証実験](#)
 - ・ [再生可能エネルギーを用いた給電に係る共同研究](#)

提案者側に
期待すること

徳島市と連携して、市のフィールドや資産を生かしながら、新たな創エネや省エネに関する技術の実証実験など、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組を行ってください。
シンボルゾーンにおける提案を特に募集していますが、その他エリアでの提案についてもお待ちしております。
民間事業としての自走の可能性など、実証実験後の展開も含めて長期的なご提案をいただくと、本市でも前向きな検討が行いやすくなりますので、よろしくお願いします。

